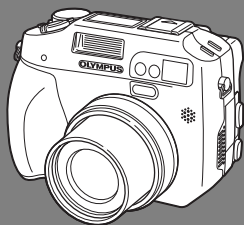
CAMEDIA

デジタルカメラ

C-7070 Wide Zoom

撮って見る！

基本編

オリンパス デジタルカメラのお買い上げ、ありがとうございます。

製品をご使用になる前に、カメラを操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。また、お読みになったあとは、必ず保管してください。

- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番等、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止します。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品で撮影された画像の質は、通常のフィルム式カメラの写真の質とは異なります。

●電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
飛行機内では、離発着時のご使用をお避けください。
本製品の接続の際、当製品指定のケーブルを使用しない場合、VCCI基準の限界値を超えることが考えられます。必ず、付属のケーブルをご使用ください。

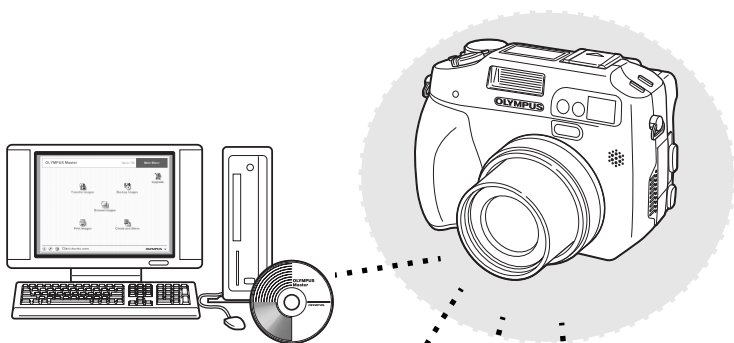
●商標について

Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。
MacintoshおよびAppleは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
その他本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

●カメラファイルシステム規格について

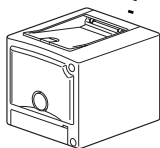
カメラファイルシステム規格とは、電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された規格「Design rule for Camera File system/DCF」です。

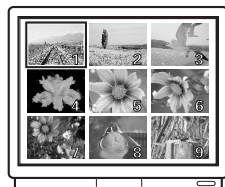
もくじ

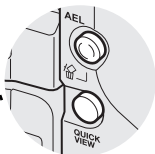
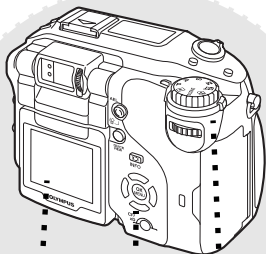
このカメラの使い方

パソコンに•••

カメラの画像をパソコンに保存し、付属のOLYMPUS Masterを使うと、画像の編集・閲覧・プリントなどをもっと楽しむことができます。

カードに•••

撮影した画像はxD ピクチャーカードなどのメディアに記録されます。カードにプリント予約してプリントショップやプリンタ（PictBridge対応）でプリントすることができます。

プリンタに•••

プリンタ（PictBridge対応）からカメラの画像を直接プリントすることができます。

テレビに•••

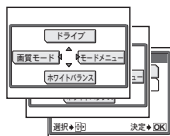
カメラの画像やムービーをテレビで再生することができます。

ダイレクトボタンで•••

フラッシュの設定や画像の削除、プロテクトなどダイレクトボタンで簡単に操作することができます。

モードダイヤルで•••

撮影や再生の操作を選びます。
SCENE は7種類の撮影シーンから撮影状況に合わせた設定を選択することができます。

十字ボタン・OK MENUボタンで•••

メニューの選択や設定のほか、再生画面のコマ送りのときも使います。

メニューで•••

液晶モニタに表示されたメニューで撮影や再生、カメラに関する設定を行います。

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この内容をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **危険**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を示しています。
⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

製品の取り扱いについて

⚠ 警告

● **可燃性ガス、爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しない**
引火・爆発の原因となります。

● **フラッシュを人（特に乳幼児）に向けて至近距離で発光させない**

● **カメラで日光や強い光を見ない**
視力障害をきたすおそれがあります。

● **幼児、子供の手の届く場所に放置しない**
以下のような事故が発生するおそれがあります。
- 誤ってストラップを首に巻きつけ、窒息を起こす。
- 電池やxD ピクチャーカードなどの小さな付属品を飲み込む。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
- 目の前でフラッシュが発光し、視力障害を起こす。
- カメラの動作部でけがをする。

● **ほこりや湿気、油煙、湯気の多い場所で長時間使用したり、保管しない**
火災・感電の原因となります。

● **フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない**

● **連続発光後、発光部分に手を触れない**
やけどのおそれがあります。

● **分解や改造をしない**
感電・けがをするおそれがあります。

● **内部に水や異物を入れない**
火災・感電の原因となります。
万一水に落としたり、内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り電池を抜き、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。

● **通電中の充電器、充電中の電池に長時間触れない**
充電中の充電器や電池は、温度が高くなります。また別売のACアダプタを長時間ご使用の場合にも、本体の温度が高くなります。長時間皮膚が触れていると、低温やけどのおそれがあります。

● **専用の当社製リチウムイオン電池と充電器以外は使用しない**
発熱、変形などにより、火災・感電の原因となります。またカメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故がおきる可能性があります。専用品以外の使用により生じた傷害は補償しかねますので、ご了承ください。

⚠ 注意

● **異臭、異常音、煙が出たりするなどの異常を感じたときは使用を中止する**
火災・やけどの原因となることがあります。
やけどに注意しながらすぐに電池を取り外し、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご連絡ください。
（電池を取り外す際は、素手で電池を触らないでください。また可燃物のそばを避け、屋外で行ってください。）
● **濡れた手でカメラを操作しない**
故障・感電の原因となることがあります。また、ACアダプタの抜き差しは、濡れた手では絶対しないでください。
● **カメラをストラップで提げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかからないように注意する**
けがや事故の原因となることがあります。
● **高温になるところに放置しない**
部品の劣化・火災の原因となることがあります。
● **専用のACアダプタ以外は使用しない**
カメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故が起きる可能性があります。専用以外のACアダプタの使用により生じた傷害は補償しかねますので、あらかじめご了承ください。
● **ACアダプタのコードを傷つけない**
ACアダプタのコードを引っ張ったり、継ぎ足したりは絶対にしないでください。必ず電源プラグを持って、抜き差しを行ってください。
以下の場合はただちに使用を中止し、販売店、当社修理センターまたはサービスステーションにご相談ください。
- 電源プラグのコードが熱い、焦げ臭い、煙が出ている。
- ACアダプタのコードに傷、断線、または電源プラグに接触不良がある。

電池についてのご注意

液漏れ、発熱、発火、破裂、誤飲などによるやけどやけがを避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 危険

● **火の中に投下したり、加熱しない**
発火・破裂・火災の原因となります。
● **（＋）（－）端子を金属類で接続しない**
● **電池と金属製のネックレスやヘアピンを一緒に持ち運んだり、保管しない**
ショート、発熱し、やけど・けがの原因となります。
● **直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所で使用・放置しない**
液漏れ、発熱、破裂などにより、火災・やけど・けがの原因となります。

● **直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしない**
端子部安全弁の破壊や、内容物の飛散が生じ危険です。
火災・破裂・発火・液漏れ・発熱・破損の原因となります。

● **電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しない**
火災・破裂・発火・液漏れ・発熱・破損の原因となります。

● **電池の液が目に入った場合は失明のおそれがあるので、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流したあと、直ちに医師の診断を受けてください。**

⚠ 警告

● **水や海水などにつけたり、端子部を濡らさない**

● **濡れた手で触ったり持ったりしない**
感電・故障の原因となります。

● **所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止する**
火災・破裂・発火・発熱の原因となります。

● **外装にキズや破損のある電池は使用しない**
破裂・発熱の原因となります。

● **電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしない**
破裂・液漏れの原因となります。

● **カメラの電池室を変形させたり、異物を入れたりしない**

● **液漏れ、変色、変形、その他異常が発生した場合は、使用を中止する**
火災・感電の原因となります。
販売店または当社サービスステーションにご相談ください。

● **電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こすおそれがあるので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。**

⚠ 注意

● **電池を使ってカメラを長時間連続使用した後は、すぐに電池を取り出さない**
やけどの原因となることがあります。

● **長期間使用しない場合は、カメラから電池を外しておく**
液漏れ・発熱により、火災・けがの原因となることがあります。

充電器についてのご注意

⚠ 危険

● **充電器を濡らしたり、濡れた状態または濡れた手で触ったり持ったりしない**
故障・感電の原因となります。

● **充電器を布などで覆った状態で使用しない**
熱がこもってケースが変形したり、火災・発火・発熱の原因となります。

● **充電器を分解・改造しない**
感電・けがの原因となります

● **充電器は指定の電源電圧で使用する**
指定以外の電源電圧を使用すると、火災・破裂・発煙・発熱・感電・やけどの原因となります。

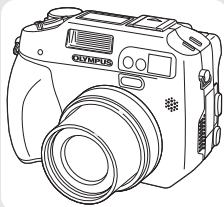
⚠ 警告

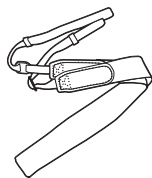
● **充電器のコードは傷つけたり、引っ張ったり、継ぎ足したりしない**
火災・感電の原因となることがあります。
コンセントからの抜き差しは、必ず電源プラグを持って行ってください。
以下の場合はすぐに使用を中止し、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。
- 電源プラグやコードが熱い、焦げ臭い、煙が出た場合
- 充電器のコードに傷、断線、または電源プラグに接触不良があった場合

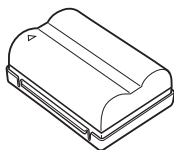
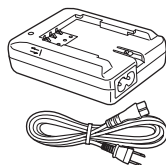
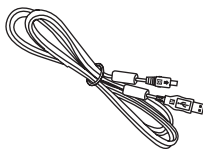
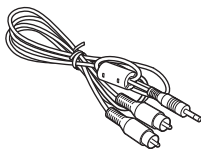
⚠ 注意

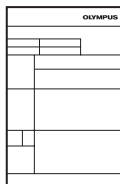
● **お手入れの際は、電源コードを抜いてから行う**
電源コードを抜かないで行うと、感電・けがの原因となることがあります。

箱の中身を確認しましょう

万一、付属品が不足していたり破損している場合は、お買い上げ販売店までご連絡ください。

デジタルカメラ

レンズキャップ／
レンズキャップ用ひも

ストラップ

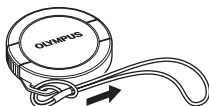
カード

リチウムイオン電池（BLM-1）

充電器（BCM-2）

USBケーブル

AVケーブル

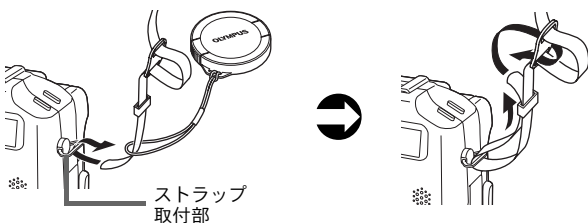
OLYMPUS Master CD-ROM

保証書

取扱説明書
基本編（本書）

取扱説明書
応用編

ストラップとレンズキャップを取り付ける

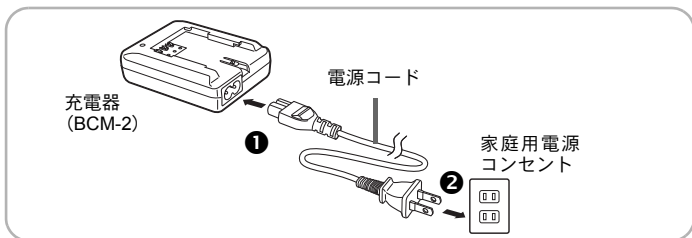
1 レンズキャップにレンズキャップ用ひもを取り付けます。

2 ストラップの先端を止め具とリングから外します。

3 レンズキャップ用ひもをストラップに通してから、カメラにストラップを取り付けます。

ご注意

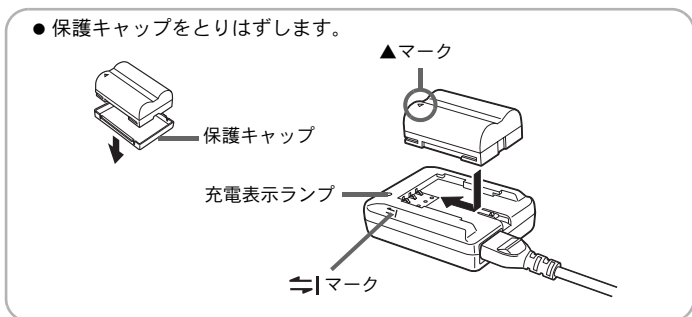
- カメラをストラップで下げているときは、他のものに引っかからないよう注意してください。けがや事故の原因となることがあります。
- 手順にしたがってストラップを正しく取り付けてください。万一、誤った取り付けによりストラップが外れてカメラを落とすなどした場合、損害など一切の責任は負いかねますのでご了承ください。

電池を充電しましょう

ご購入の際、電池は十分に充電されていません。ご使用の前に専用の充電器（BCM-2）で充電を行ってください。

1 電源コードを接続します。

2 電池をさし込みます。

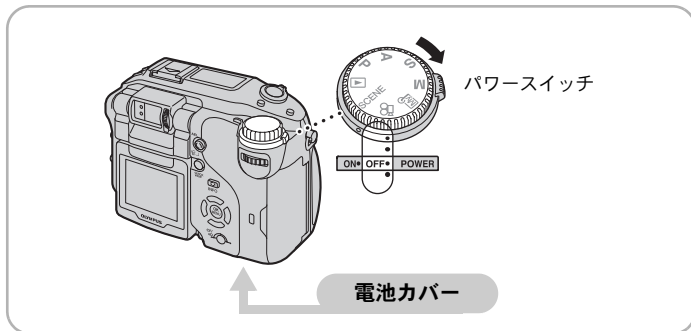
● 保護キャップをとりはずします。

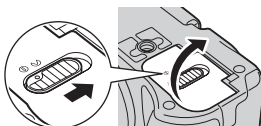
ヒント

- 付属の充電池（BLM-1）の充電時間は通常約5時間（目安）です。
- 充電表示ランプは以下の状態を示しています。
  赤色点灯：充電中
  緑色点灯：充電完了
  赤色点滅：充電エラー

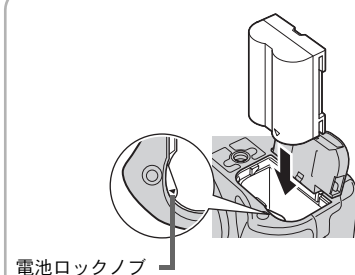
ご注意

- 電池は、当社製リチウムイオン電池（BLM-1）1 個を使用します。それ以外の電池は使用できません。
- 電池を保管したり、持ち運ぶ際は必ず保護キャップをつけてください。
- 充電器はAC100～240V（50/60Hz）の電圧範囲でご使用になれます。海外でご使用の際は、変換プラグアダプターが必要になる場合があります。詳しくは、電気店や旅行代理店でご確認ください。
- 市販の海外旅行用電子式変圧器（トラベルコンバーター）は、充電器が故障することがありますので使用しないでください。

電池を入れましょう

1 パワースイッチがOFFの位置に合っていることを確認します。

2 電池カバーを開けます。

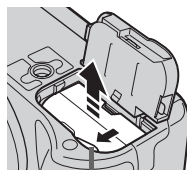
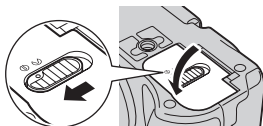
❶ 電池カバーロックを ⊖ から ⊂ へスライドさせる

❷ 引き上げる

3 電池を入れます。

● 電池が正しく入ると電池ロックノブで固定されます。

電池を取り出すときは

電池ロックノブを矢印の方向に押すと、電池が出てきます。電池を押さえてカメラの底面を下に向けるなどして取り出します。

電池カバーを閉じます。

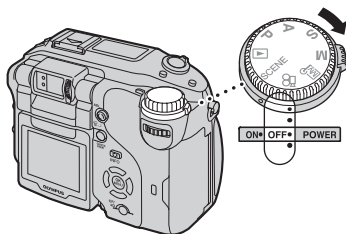
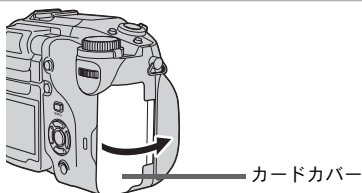
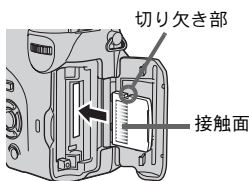
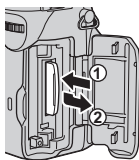
❶ 閉める

❷ 電池カバーロックを〈から⊜へスライドさせる

電池について

ご注意

- カメラの消費電力は、使用条件などにより大きく異なります。
- 以下の条件では撮影をしなくても電力を多く消費するため、電池の消費が早くなります。
  - 液晶モニタが点灯している。
  - 再生モードで長時間、液晶モニタを点灯する。
  - ズーム動作を繰り返す。
  - 撮影モードでシャッターボタンを半押しして、オートフォーカス動作を繰り返す。
  - フルタイムAFをオンにしている。
  - パソコンやプリンタとの接続時。
- 消耗した電池をお使いのときは、電池残量警告が表示されずにカメラの電源が切れる場合があります。

カードを入れましょう

1 パワースイッチがOFFの位置にあっていることを確認します。

2 カードカバーを開けます。

3 カードを入れます。

- カードの向きを合わせて、奥の挿入口にまっすぐに差し込みます。カチッという音がするまで押し込んでください。

カードを取り出すときは

カードを奥に押し込んで、そのままゆっくり戻し、カードをつまんで取り出します。

ご注意

- カードが正しく挿入されていないと、接触面が破壊されたり、カードがカメラから抜けなくなることがあります。
- カードが奥まで挿入されていないと、カードに記録できないことがあります。
- カードを取り出すときにカードを押した指をすぐに離したり、指ではじくようにして押すと、カードが勢いよく飛び出すことがあります。

4 カードカバーを閉じます。

カードについて

このカメラで使用できるカードはxDピクチャーカード（16~512MB）、コンパクトフラッシュ、マイクロドライブです。
付属のカードはxDピクチャーカードです。

インデックスエリア

カードに保存されている内容がわかるように、ここに記入できます。

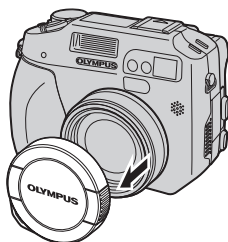
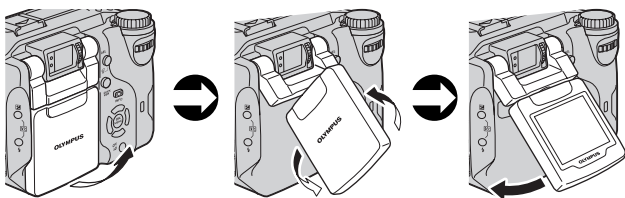
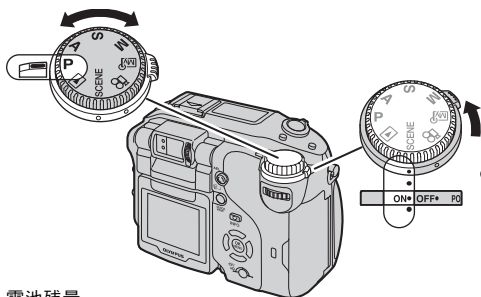
接触面（コンタクトエリア）

カメラの信号読み取り接点が接触する部分です。

ご注意

- オリンパス製以外の市販のカードや、パソコンなどの他の機器でフォーマット（初期化）したカードは、このカメラで認識できないことがあります。お使いになる前に、必ずこのカメラでフォーマットしてください。
- カードはペンなどの先のとがったものや硬いもので押さないでください。
- カメラの電源が入っているときは絶対に電池／カードカバーを開けたり、カードや電池を取り出したりしないでください。カード内のデータが破壊されるおそれがあります。破壊されたデータの復旧はできません。
- カード表面にシールなどを貼ると、カメラから取り出せなくなることがありますので貼らないでください。

電源を入れましょう

1 レンズキャップを外します。

2 液晶モニタを引き出して、回転させます。

3 モードダイヤルをPに合わせ、パワースイッチを回して電源を入れます。

● ONを●の位置に合わせます。

● 液晶モニタが点灯しレンズがせり出してきます。

ご注意

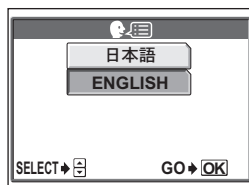
- 電源を入れたまま約3分間何も操作しないと、電池の消耗を防ぐためにスリープモード（待機状態）になり、カメラは動作を停止します。ズームレバーやシャッターボタンなどを操作するとカメラはすぐに動作を再開します。
- スリープモードに入ってから約4時間後には自動的にレンズが収納され、電源が切れます。もう一度電源を入れ直してください。
- カメラを長時間使用し続けると、内部の温度が上って自動的に動作を停止して、電源が切れることがあります。しばらく待ってから電源を入れ直してください。

はじめて電源を入れたときは

日時設定

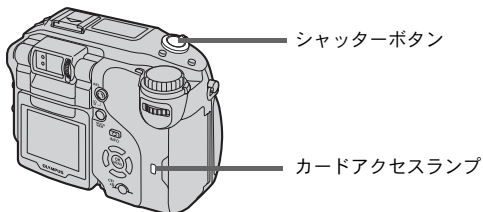
はじめてカメラをご使用になるときは､「日時を設定してください」と表示されます。別冊の取扱説明書応用編「7章 設定 日時設定」をご覧ください。日時を設定していなくてもカメラを操作することはできます。

カメラで表示される言語

お買い上げの地域によりカメラで表示される言語は異なります。本書および別冊の取扱説明書応用編では、本文と同様の言語をカメラで表示しているものとして説明しています。表示する言語を変更する場合は、別冊の取扱説明書応用編「7章 設定 言語切換」をご覧ください。

電池残量

電源を入れたときや使用中に電池残量が少なくなると、電池残量の表示が変化します。

点灯（緑）（しばらくすると消灯）	点滅（赤）	「電池残量がありません」と表示
撮影できます。	電池残量が少なくなりました。早めに充電してください。	電池残量が完全になくなりました。電池を充電してください。

1 構図を決めます。

- 液晶モニタを見ながら AF ターゲットマークを被写体に合わせます。

2 ピントを合わせます。

- シャッターボタンを軽く押します（半押し）。

- ピントと露出が固定されると、緑ランプが点灯します。
  （フォーカスロック）
- フラッシュが発光する前に⚡マークが点灯します。
- ピントの合った位置に AF ターゲットマークが移動します。
- カメラが自動的に決めたシャッター速度や絞り値が表示されます。

3 撮影します。

● 半押しの状態から、さらにシャッターボタンを押し込みます（全押し）。

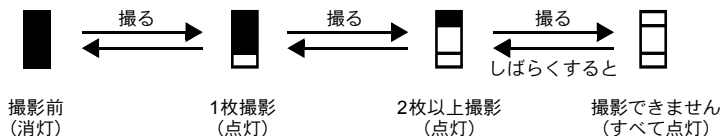
● 撮影されます。カードアクセスランプが点滅し、カード記録が始まります。

メモリゲージ

ご注意

● シャッターボタンは静かに押してください。シャッターボタンを強く押すとカメラが動き、ぶれる原因になります。
● カードアクセスランプの点滅中は、絶対に電池やACアダプタを抜かないでください。また、電池／カードカバーを開けないでください。撮影した画像が保存されないだけでなく、保存済みの画像が破壊されるおそれがあります。
● 電源を切ったり、電池の交換や取り外しを行っても、撮影した画像はカードに保存されています。
● 強い逆光などで撮影すると、画像の影の部分に色がつくことがあります。

メモリゲージ

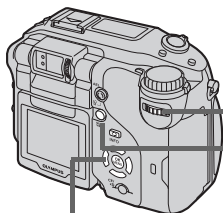
シャッターボタンを押すとメモリゲージが点灯します。点灯中は撮影した画像をカードへ記録しています。メモリゲージの表示は、撮影状態によって変化します。ムービー撮影中は表示されません。

撮影前（消灯）

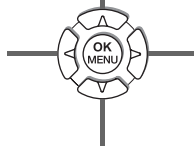
1枚撮影（点灯）

2枚以上撮影（点灯）

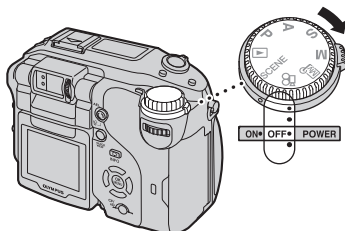
撮影できません（すべて点灯）しばらく待って撮影前の状態に戻ったら次の撮影ができます。

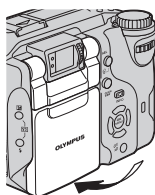
再生しましょう

1 QUICK VIEWボタンを押します。

- 撮影モードのままで、最後に撮影した画像が表示されます。
- もう一度**QUICK VIEW**ボタンを押すか、軽くシャッターボタンを押すと、すぐに撮影できる状態に戻ります。

2 十字ボタンで見たい画像を表示します。

- コントロールダイヤルを回して画像を表示することもできます。

電源を切りましょう

1 パワースイッチを回して電源を切ります。

- OFFを●の位置に合わせます。
- 液晶モニタが消灯します。
- レンズが収納されます。

2 液晶モニタを閉じます。

- 液晶モニタを保護するため、液晶モニタを内側にして閉じてください。

これで「撮って」「見る」ことができましたね。
次は、応用編をのぞいてみましょう。
付属 CD-ROM の画像編集ソフト OLYMPUS Masterをインストールして、撮った画像をパソコンで「見る」こともおすすめです。

仕様

カメラ

形式	：デジタルカメラ（記録・再生型）
記録方式	
静止画	：デジタル記録、TIFF（非圧縮）、JPEG（DCF準拠）、RAWデータ
対応規格	：Exif 2.2、DPOF、PRINT Image Matching II 、PictBridge
静止画音声	：Waveフォーマット準拠
動画	：QuickTime Motion JPEGに準拠
記録媒体	：xDピクチャーカード（16-512MB） コンパクトフラッシュ／マイクロドライブ* * 340MBのマイクロドライブは使用できません。
画像サイズ	：3072 × 2304ピクセル（RAW／TIFF／SHQ／HQ） 3072 × 2048ピクセル（3:2　SHQ／HQ） 2592 × 1944ピクセル（TIFF／SQ1） 2288 × 1712ピクセル（TIFF／SQ1） 2048 × 1536ピクセル（TIFF／SQ1） 1600 × 1200ピクセル（TIFF／SQ1） 1280 × 960ピクセル（TIFF／SQ2） 1024 × 768ピクセル（TIFF／SQ2） 640 × 480ピクセル（TIFF／SQ2）
記録コマ数	
16MBカード使用時 （音声なし）	：約1枚（RAW：3072 × 2304） 約0枚（TIFF：3072 × 2304） 約3枚（SHQ：3072 × 2304） 約9枚（HQ：3072 × 2304） 約32枚（SQ1：1600 × 1200標準） 約165枚（SQ2：640 × 480標準）
カメラ部有効画素数	：710万画素
レンズ	：オリンパスレンズ5.7～22.9mm、F2.8～4.8 （35mmフィルム換算27～110mm相当）
フィルタ	：当社製専用フィルタ装着
測光方式	：撮像素子によるデジタルESP測光方式、 スポット測光、中央重点測光
絞り	：F2.8～11.0
シャッター	：15～1/4000秒（バルブ撮影時：最長120秒）
撮影範囲	：0.8m～∞（通常） 0.2m～0.8m（マクロ撮影時）
ファインダ	：光学実像式ファインダ
液晶モニタ	：1.8型（インチ）TFTカラー液晶、13万画素
オートフォーカス	：デュアルオートフォーカス コントラスト検出方式 / 位相差検出方式

コネクタ	：	DC入力端子、USB端子、A/V出力端子
自動カレンダー機能	：	2000～2099年の範囲で自動修正
使用環境		
温度	：	0～40℃（動作時）／-20～60℃（保存時）
湿度	：	30～90％（動作時）／10～90％（保存時）
電源	：	専用リチウムイオン電池（当社製BLM-1）１個 または専用ACアダプタ
大きさ	：	幅116mm × 高さ87mm × 厚さ65.5mm （突起部を除く）
質量	：	433g（電池／カード別）

xDピクチャーカード

メモリーの種類	：	NAND型フラッシュ EEP-ROM
使用環境		
温度	：	0～55℃（動作時）／-20～65℃（保存時）
湿度	：	95%以下
駆動電圧	：	3V (3.3V)
大きさ	：	約20 × 25 × 1.7mm

リチウムイオン充電池（BLM-1）

形式	：	充電式リチウムイオン電池
公称電圧	：	DC7.2V
公称容量	：	1500mAh
充放電回数	：	約500回（使用する条件により異なります。）
使用環境		
温度	：	0～40℃（充電時）／-10～60℃（動作時）／-20～30℃ （保存時）
大きさ	：	約39 × 55 × 21.5mm
質量	：	約75g（保護キャップ含まず）

充電器（BCM-2）

定格入力	：	AC100～240V（50／60Hz）
定格出力	：	DC8.35V、400mA
充電時間	：	約300分（約5時間）（常温：BLM-1ご使用の場合）
使用環境		
温度	：	0～40℃（動作時）／-20～60℃（保存時）
大きさ	：	約62 × 83 × 26mm
質量	：	約72g（電源コード含まず）

外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

OLYMPUS®

オリンパス イメージング株式会社

〒163-0914　東京都新宿区西新宿2の3の1 新宿モノリス

● ホームページによる情報提供について

製品仕様、パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&Aなどの各種情報を当社のホームページでご提供しております。
オリンパスホームページ（**http://www.olympus.co.jp/**）から「お客様サポート」→「映像・情報分野」→「デジタルカメラ／プリンタ」へ進み、ご利用ください。

● 電話等でのご相談窓口

カスタマーサポートセンター

フリーダイヤル

0120-084215

携帯電話・PHSからは0426-42-7499

FAX　0426-42-7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

営業時間　平日　9：30～21：00
土・日・祝日　10：00～18：00
（年末年始、システムメンテナンス日を除く）

● 修理に関するお問い合わせ、修理品ご送付先

TEL 0266-26-0330　　FAX 0266-26-2011

〒394-0083　長野県岡谷市長地柴宮3-15-1
オリンパス岡谷修理センター
営業時間9:00～17:00
（日曜、夏期・年末年始休業、システムメンテナンス日を除く）

● 国内サービスステーション（修理受付窓口）

東　京	〒101-0052	千代田区神田小川町1の3の1　小川町三井ビル（オリンパスプラザ内）	Tel.03（3292）3403
札　幌	〒060-0034	札幌市中央区北4条東1の2の3　札幌フコク生命ビル	Tel.011（231）2320
仙　台	〒981-3133	仙台市泉区泉中央１の13の4　泉エクセルビル	Tel.022（218）8421
名古屋	〒460-0003	名古屋市中区錦2の19の25　日本生命広小路ビル	Tel.052（201）9571
大　阪	〒542-0081	大阪市中央区南船場2の12の26　オリンパス大阪センター	Tel.06（6252）6995
広　島	〒730-0013	広島市中区八丁堀16の11　日本生命広島第2ビル	Tel.082（228）3821
福　岡	〒810-0004	福岡市中央区渡辺通3の6の11　福岡フコク生命ビル	Tel.092（761）4466

※ 土・日曜、祝日および年末年始・夏期休暇は原則として休業させていただきます。オリンパスプラザ内の東京サービスステーションは土曜も営業しております。

Printed in Japan
1AG6P1P2381--　　VM051301